



請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	令和4年8月31日 第31号
件名	ESAT-J（スピーキングテスト）結果の 都立高校入試へ導入の見送りを求める請願
請願者	  外1名
紹介議員	たかはま なおき 沢田 けいじ 小林 れい子 田中 和子
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文教委員会

請願理由

東京都教育委員会（以下都教委）は11月27日（日）すべての公立中学校3年生にESAT-J（スピーキングテスト）を実施します。そしてそのテスト結果を今年度の都立高校入試に活用するとしています。都立高校入試は、採点基準が明確であること、受験生にとって公平・公正に実施されるべきですが、このESAT-Jは以下の点などで問題があります。

- 1 進路説明会などで十分な説明がされていない。
- 2 ESAT-Jの結果は来年1月中旬に出る予定。例年志望校を決める2学期中（年内）の三者面談に間に合わない。志望校決定後、ESAT-Jの結果が出てから志望校の変更があるならば、受験生、保護者にとって非常にストレスがかかる。
- 3 ESAT-Jの結果は開示請求ができない。受験生は何を間違えたかもわからず英語の向上に繋がらない。採点ミスもわからない。
- 4 ESAT-Jの素点は100点満点で、その点数に基づき6段階の評価がつき、評価ごとに4点刻みで換算される。ケースによってはテスト1点の差で換算点の差が4点になる場合がある。
- 5 不受験者の結果が他者のESAT-J結果の平均で出される。入試において他者の結果で評価されることはあってはならない。ケースによっては不受験者の順位が筆記上位の受験生の総合得点を逆転する可能性もある。
- 6 自治体によってESAT-Jと類似のベネッセの英語テストGTECを実施しているところがある。類似のテストをやっている生徒が有利になる可能性がある。文京区は実施していない。
- 7 ESAT-Jを入試に活用することになると、対策として塾に通う生徒が出てくると想定できる。経済的に余裕のある家庭、そうでない家庭の教育格差を助長する。
- 8 個人情報登録が1で書いたように十分な説明がないまま始まっている。都教委が実施するテストであるのに、ベネッセのサイトになっている。個人情報の漏洩、利用など不安がある。
- 9 当日のテストが前半、後半に分かれ、タブレットが使い回される。前半か後半かは当日現場に行くまで知らされない。前半後半とではコンディションが違い不公平。

以上のような多くの問題を含むESAT-Jを都立高校入試に導入し、個人の能力を公平・公正に判断することは困難です。よって、以下の事項を求めることをお願いいたします。

請願事項

- 1 文京区議会から東京都教育委員会に対し、ESAT-J（スピーキングテスト）結果の都立高校入試への導入を見送るよう、働きかけてください。